

## 4 ようとん 養豚について

ぶたは、一度に10頭以上もの子ぶたを産みます。また、生まれた時は1.5kgですが、出荷される時には110kgと、産まれた時のおよそ70倍にもなります。

養豚場では、みなさんに、安全でおいしいぶた肉を届けるため、毎日、えさをあたえたり、世話をしています。

青森県では、きぼが大きく、何万頭も飼っている農場が多くあります。

### 〈主なぶたの種類〉

#### ランドレース



体が大きく、一度に多くの子ぶたを産むことができます。耳が大きくたれているのが特ちょうで、主に母ぶたとして飼われています。

#### 大ヨークシャー



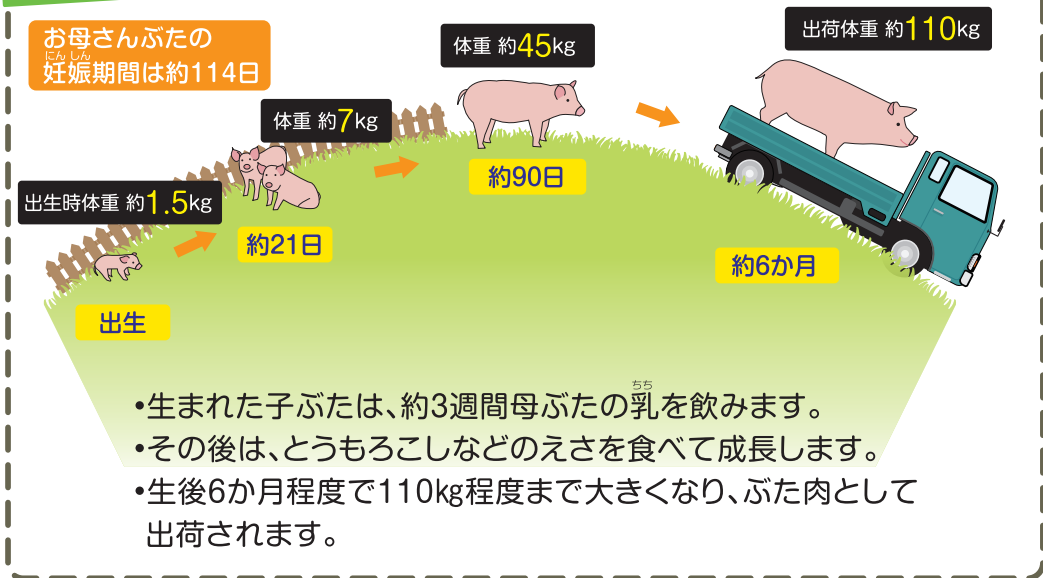
体が大きく、白色で耳が立っているのが特ちょうです。子ぶたを多く産むことができるため、母ぶたとして広く飼われています。

#### デュロック



体はやや大きく赤色の毛。成長が早く、質のよい肉がたくさん付くのが特ちょうです。

### ぶたの一生



# 養豚場の主な作業内容(みのる養豚の場合)



みなさんに、安全でおいしいぶた肉を届けるために、養豚場ではどのような仕事をしているのでしょうか。



## 人工授精 (じんこうじゅせい)

交配は、人工授精によって生後240日が過ぎたころに行います。



## 分娩(ぶんべん)

1頭の母ぶたは、年に2回お産をします。みのる養豚では1週間に約1,000頭の子ぶたが生まれます。



## 哺乳(ぼにゅう)

産後、すぐに出る乳は「初乳」とよばれ、豊富な栄養と、細き人などから赤ちゃんを守るための、めんえき成分がたっぷりふくまれています。子ぶたは3週間、母乳を飲みます。



## 肥育舎(ひいくしゃ)

えさは常に、自動的にあたえられます。生後100日から出荷までの60日間は、地元産のんにく粉末入りのえさをあたえることで、ビタミンB1が2~3倍になり、うまみと甘みたっぷりのぶた肉になります。



## 子ぶた舎

ゆかはメッシュ状になっていて、ふん尿が下の階に落ちるため、ぶたの体は清けつです。下に落ちたふん尿は毎日機械でそうじします。



## ワクチン接種

生後3週間後に注しやでワクチン接種を行います。10週目には注しやと飲ませるタイプのワクチンをあたえます。



## 消毒

ぶたを出荷した後は、豚舎の消毒を行います。



## 外観

農場は5つあり、「分娩用」、「交配用」、「子ぶた用」、「親ぶた用」などに分かれています。  
•あらかじめ温度設定をし、空調を使ってきれいな空気を取り入れ、快適な空間を保っています。

## 豆知識

### ~ぶた肉について~

私たちがふだん食べているぶた肉は、主に3つ以上の品種をかけ合わせて生まれた子ぶたを育てたものです。いろいろな品種をかけ合わせることで、各品種の長所を持ったぶたを生産することができます。



## 養豚場で働く人のしょうかい



有限会社みのる養豚 常務取締役 中野渡 大さん



有限会社みのる養豚 代表取締役社長 中野渡 稔さん

有限会社 みのる養豚(十和田市)

### ①養豚のやりがい、おもしろさ

- うちのぶたは、地元産のにんにくを食べてすくすく育った「ガーリックポーク」です。ビタミンB1が多くふくまれ、ひろう回復にも効果があります。
- 愛情をこめた分だけぶたがすこやかに育ち、みなさんの健康に役立てることにやりがいを感じています。



### ②養豚で重要なこと

- ぶたはとてもきれい好きで、性格もデリケートですので、ぶたがのびのびと快適に過ごせるよう、体調をきめ細かく観察しながら愛情たっぷり育てています。
- しんせん水、空気、えさはもちろんですが、ぶたがストレスなく過ごせるようかん境づくりにも気を配っています。



### ③みなさんへ伝えたいことやPR

- ぶたのふん尿（にょう）で作ったたい肥でんにくや飼料用米（まい）を育て、それをぶたにあたえる循環型農業に取り組んでいます。
- 以前たずねたデンマークでは、畜産業はゆうしゅうな大学生たちがめざすあこがれの職業でした。青森県もいつかそうなることを夢見て、がんばっています。

